

郵便  
報知新聞  
第四百八十四号

讀及池原村の農作次郎が身千代吉の眼明き  
 多し物なるこの不自由な世に於て  
 思ひ居らむ慶應三年十六才の身出で  
 痛いられは母のふく寮一諸所を尋ね  
 絶つ影を求めしに明治二年同國湯月町  
 の路傍入人の七食ありておとこも我子に  
 似され其名を問ふ千代吉と答(年と同)や  
 廿歳と云はれ今疑ふ方多し我子とて  
 否左非すとわを強て我家へ連之じ  
 至極素直よく能く復て稼き給へ  
 喜ひあり然るに吹明治七同國菊間村の  
 遍照院へ忍び入職捕はれしに  
 池原村作次郎身千代吉と云依く作次郎方  
 尋ねに代吉の家あり西人衝合て乳を  
 盗せる千代吉の作次郎を尋るりしとを



全編景堂

大種  
片田彫長

